

# スローライフ、たいむす。

毎日の中の、小さな楽しみを、  
そとすくって、みなさんにお届けするお便りです♪  
雲ひとつない青空を見て、急にやる気がでたり♪  
朝から忙しい小鳥たちのおしゃべりで、目が覚めたり♪  
いつの間にか、芽を出した花をみて一日が気分よく過ごせたり♪  
些細なことだけれど、心がホッとあたたまるようなことを  
家のことや暮らしのことはもちろん、日々のことを綴っていきます

## ● 町家造りのご実家 ●



昭和6年の建築で薬屋さんとして明治18年に創業されたそうです

蕨市の旧中山道の歴史を感じる街道沿いに建つSさまのご実家は、中仙道蕨宿の景観建築物10件に選ばれています。この歴史を感じさせる町家造りの伝統的なたたずまいのご実家の隣に、並び建つように建設することとなった、新しい住まい計画。当初はご実家の隣



ギャラリーの看板が！



敷地内の日本庭園の灯籠や敷石

に建つ古い住まいをそのまま生かす方向でしたが、綿密に調査すると古くから繰り返された増改築によって、そのまま住むには問題があることが判明、いったん更地にして新しい住まいを計画することになりました。敷地の形状や境界からの空き等を考慮した結果、細長いスペースでの間取り検討がはじまりました。この地区は歴史性に配慮することが求められていることもあり、新築の家でも外壁には伝統色を用いました。

## ● ご実家のすぐ隣への新築 ●



古材の丸太・欄間を再利用



あらかしの梁とこだわりキッチン



古いご実家の隣に建つ新居

内部は、ご実家の改修工事の際にでた丸太の古材、欄間などを再利用しました。これまでの「ロハスの家」の特長に加えて、伝統的な街並みの敷地に隣接しているところから、歴史の継承を重んじ古材を最新の空間に取り入れる試みでした。真っ白な珪藻土の壁、無垢材の床はもちろん健康住宅の性能です。これら天然素材と古材のもつ良さがミックスした和洋のイメージをこえた、あたたかみある室内になりました。思い返せば、最初の打ち合わせから10ヶ月、敷地の分筆からはじまり、間取りの検討と欄間や梁など古材の再利用の検討、蕨市まちづくり推進課との打ち合わせなど、時間をかけSさま理想のお住まいが完成しました。



景観になじむ壁色と十分な採光で明るい室内に

